

AI 教育推進室 2022 年度総括 (自己点検・評価)

AI 教育推進室長 木戸 博
 教務学生課長 目黒 裕二

2022 年度総括エビデンス資料一覧 (AI 教育推進室)

No.	エビデンス資料 (タイトル)	総括 No.
1	令和 4 年度 第 1 回 AI 教育推進委員会資料	1 - (1)
2	令和 4 年度 第 1 回 AI 教育推進委員会議事要録	1 - (1)
3	令和 4 年度 第 2 回 AI 教育推進委員会資料	1 - (1)
4	令和 4 年度 第 2 回 AI 教育推進委員会議事要録	1 - (1)
5	令和 4 年度 第 2 回 AI 教育推進委員会資料 (再掲)	1 - (2)
6	令和 4 年度 第 1 回 AI 教育推進委員会資料 (再掲)	1 - (3)
7	数理・データサイエンス・AI 教育プログラム (リテラシーレベル) の認定について (文部科学大臣通知)	1 - (3)
8	令和 4 年度 第 2 回 AI 教育推進委員会資料 (再掲)	1 - (3)
9	令和 4 年度 AI 教育推進室会議事要録 (第 1 回~第 3 回)	1 - (4)
10	令和 4 年度 AI 教育推進委員会議事要録 (第 1 回~第 2 回)	1 - (4)

1. 2022 年度目標の達成状況・主要計画の実施状況

(1) AI 教育プログラムの実施

事実の説明	<ul style="list-style-type: none"> 人工知能総論 (全学科必修、前期) にて全 14 回のオンデマンド授業を行った。 人工知能入門 (全学科選択、後期) にて全 7 回のオンデマンド授業及び全 7 回の再履修クラスを行った。
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 人工知能総論における全学科の教員、学習支援センターの職員及び非常勤講師の計 13 名による全学的な AI 教育推進に対する取組みは評価できる。 全学科の教員がそれぞれの関連分野でのデータ・AI 利活用についての講義は受講生から好評であり、AI に対する関心を大きく高めた。 人工知能入門では、不合格であった受講生に対し、理解度を向上させるために再履修クラスを設け修了者増に繋がった。

(2) AI 教育プログラムの教育内容

事実の説明	<ul style="list-style-type: none"> 人工知能総論の教育内容が、文部科学省の数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 (リテラシーレベル) の認定を受けた (令和 4 年 8 月)。 人工知能入門において G 検定ジェネラリスト試験に沿った教育内容とした。 令和 5 年度開講する「人工知能基礎」、「人工知能応用」の教育内容に関し、数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 (応用基礎レベル) の認定要件を満たすシラバスとした。
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 本学の人工知能総論が文部科学省の認定制度 (リテラシーレベル) に認定されたことは評価できる。 認定制度 (応用基礎レベル) の認定要件を満たすシラバスを作成し、令和 5 年度開講の「人工知能基礎」、「人工知能応用」を準備したことは評価できる。

(3) AI 教育プログラムの履修・修得

事実の説明	<ul style="list-style-type: none"> 人工知能総論の履修率 (履修者/定員) は、117% (目標 99%) を達成した。 ※人工知能総論の履修者/在籍者は、98% (前年度 100%) であった。 人工知能総論の修得率 (修了者/履修者) は、81% (目標 90%) を達成した。 人工知能入門の履修率 (履修者/定員) は、89% (目標 70%) を達成した。 ※人工知能入門の履修者/在籍者は、75% (前年度 79%) であった。 人工知能入門の修得率 (修了者/履修者) は、86% (目標 80%) を達成した。
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 人工知能総論の修得率において目標未達であり、修得率向上に向け工夫が必要。 人工知能総論の受講生アンケートにおいて、受講学生の約 82% (前年度約 80%) が、授業満足度 70% 以上であり、満足度の高い授業内容と言える。 人工知能入門は選択科目であるにもかかわらず、高い履修率と修得率に至ったことは高く評価できる。

(4) AI 教育プログラムの推進体制

事実の説明	<ul style="list-style-type: none"> AI 教育推進室会議を 3 回開催し、AI 教育の円滑な推進を図った。 AI 教育推進委員会を 2 回開催し、全学的な AI 教育推進を図った。 外部評価委員会にて、本学の AI 教育の状況を説明し意見を伺った。
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> AI 教育推進室会議及び AI 教育推進委員会を概ね計画通り開催し、教育内容の確認と検討を全学的に行なった。 前年度に続き外部評価員会での本学の AI 教育の状況説明を行った。産業界からの意見を伺う良い機会となった。

(5) その他

事実の説明	<ul style="list-style-type: none"> 3 年次より開始される応用基礎レベル科目である人工知能基礎、人工知能応用の履修準備のため、2 年次希望学生向けに、特別課外活動として外部教材による動画視聴講座を行った。
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 初めての試みで応募者数の見当がつかなかったが、約 100 名の応募があり、LD 学部の学生も受講したことは、全学での応用基礎レベル認定要件を満たすものであり、評価できる。

2. 課題および改善・向上の方策 (「2022 年度計画を踏まえての学長指示事項」への対応状況は、この欄に記載して下さい)

<ul style="list-style-type: none"> 令和 5 年度開講する「人工知能基礎」、「人工知能応用」を適切に実施し、令和 6 年度の認定制度 (応用基礎レベル) の申請につなげる。
--

3. 特記事項 無し